

医療用液化酸素、細胞凍結保存システム用
液化窒素及び医療用ガスの購入に係る単価契約

仕様書

令和 8 年 2 月

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

医療用液化酸素及び細胞凍結保存システム用液化窒素

1 品名・規格・数量

- I (医療用液化酸素) 日本薬局方外医薬品液化酸素 純度 99.5%以上
予定数量 242,200kg
- II (細胞凍結保存システム用液化窒素) 液化窒素 純度 99.999%以上
予定数量 80,200kg

2 納入場所

- I 当センター構内の医療用液化酸素貯留タンク
- II 当センター構内の液化窒素貯留タンク

3 納入方法

- (1) タンクローリー車により搬送の上、当センター構内の医療用液化酸素貯留タンク(容量 10,000kg)、液化窒素貯留タンク(容量 5,000kg)へ納入すること。
- (2) 納入期限を順守するとともに、納入にあたっては、事故等が発生しないよう十分注意すること。
- (3) 緊急時及び災害時を含め年間を通して 24 時間体制で、迅速に供給対応すること。
- (4) 契約業者は、納入時にタンクの液化ガス受入口に 2 名、タンクの液面確認に 1 名の、計 3 名以上で納入対応をすること。
- (5) 納入時の受け渡しは当センター係員立会いのもと行うこととし、納入の都度、直ちに納品書を提出すること。
- (6) 充填量はタンクローリー車搭載の重量計にて計測し、充填前と充填後の数値を当センター係員の面前で確認しその場で計量票を提出すること。

4 納入時期

- (1) 指定する日の午前中の中に納入すること。該当日が休日の場合も同様とすること。
- (2) (1)のほか、当センターから指示があれば、その都度指定日時に納入すること。

5 その他

- (1) 高圧ガス保安法及び医薬品医療機器等法の法令を順守し、安全の確保を行うこと。
- (2) I・IIの注入時、ガス漏れがないか常時点検し、周囲に火気及び引火性、発火性物等のないことを確認すること。
- (3) 注入時は、充填中等の警戒標を掲げ、車両には車止めをすること。
- (4) 納入する I・II は、供給証明書を提出したメーカーに限ること。また、2 社以上の供給証明書を提出することで、有事の際にも病院業務に支障がないようにすること。
- (5) メーカー、窓業者、当センターの 3 者が遠隔で閲覧できる着脱式の在庫量遠隔情報収集システムを設置できること。
- (6) 契約業者は(5)のシステムを使用し、当センター担当者と協議の上ガス納入日を決定したあとに当該製品を納入すること。

- (7) 貯留タンクの点検及びタンク周りの点検と残量を確認の上、充填日を施設保全グループ係員と打ち合わせること。
- (8) IIに関して、当センターが保有する細胞凍結保存システムの構成品である液化窒素貯留タンクへの納入であり、充填作業に起因して連動する同システム制御盤にて警報動作が出た場合は供給業者が直ちに細胞凍結保存システムメーカーと協力の上、復旧対応できること。
- (9) 運用に関しては、当センター担当者と十分に情報共有を行うこと。
- (10) 契約業者は細胞凍結保存システムの警報が発生した際、エラーコードの確認及びシステムの復旧作業を速やかに行うこととする。その後当センター係員に復旧の報告をするものとする。
- (11) 細胞凍結保存時に何らかの不具合が発生した際は、当センター担当者と契約業者が協力し、代替容器等を準備し試料の保管に努めるものとする。
- (12) 支払い手続きについては、発注者と別途協議するものとする。

【参考】

I 医療用液化酸素貯留タンクの仕様

形式	たて置円筒型 T L-10 (10 t タンク 1 基)
最大貯蔵量	液化酸素 9,961kg
メーカー	(株)クライオワン

II 細胞凍結保存システムの主な仕様及び構成品

形式	たて置円筒型 T L-5 (5 t タンク 1 基)
最大貯蔵量	液化窒素 3,626kg
メーカー	大陽日酸 (株)
凍結保存管理システム制御盤	貯留タンク液面監視、凍結保存容器警報管理、連動供給

医療用ガス

1 品名・規格・予定数量

(医療用ガス)

液化酸素以外の医療ガス（下記「医療用ガス詳細一覧表」のとおり）

ボンベ容器の廃棄、耐圧検査は契約外とする。

2 納入場所

当センター構内の指定する場所

3 納入方法

納入は、原則として契約業者の所有する容器に医療ガスを充填し納入すること。また、当センター職員の指示により、土・日・祝日・昼夜を問わず納品し、病院業務に支障がないようにすること。

医療用酸素 500L 容器においては当センター所有容器を使用し、容器が不足した場合及び医療用炭酸ガス 2.2kg 容器においては全て契約業者の所有容器を使用すること。

4 納入スケジュール等

- (1) 装置の異常・緊急納入の要請等、当センターからの指示には 24 時間体制で迅速に対応すること。
- (2) 病院の医療用酸素及び研究所の小口液体窒素、炭酸ガス等は、指定の場所に提出された発注伝票を確認し、請求された本数を毎日午後補充し、点検を行うこと。

5 その他

- (1) ボンベ交換等は、当センター職員の立会いのもと行うものとし、確認と検印を得ること。
- (2) 納入業者所有のボンベは、高圧ガス保安法に基づく点検済のボンベを使用し、当該ボンベの法定点検報告書を提出すること。
- (3) 高圧ガス保安法及び医薬品医療機器等法の関連法規を遵守し、機器の取り扱いについて適切な指導を受けた者を派遣すること。
- (4) 関連機器の取り扱いや手順及び安全操作を遵守し、事故のないよう十分注意し、当センターの指示に従うこと。
- (5) 納入の都度、直ちに納品書を提出すること。

○詳細一覧表

品名	規格	容量	単位	予定数量 (保証しない)	納入時期	備 考
医療用液化酸素	純度99.5% 以上	－	kg	242,200	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。 ※再掲
医療用酸素	純度 99.5% 以上	500L	本	10,000	毎日(土日・祝日・ 年末年始の休業日 を除く)	14時までの発注分は当日18時までに、14 時以降の発注分は翌日12時までに納入す る。 ただし、緊急の場合は当日中に納品する こと。 ※緊急発注に対応するため、予備ボンベを 10本以上マニホールド室に保管すること。
細胞凍結保存システ ム用液化窒素	純度 99.999%以 上	－	kg	80,200	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。 ※再掲
液体窒素	純度99.5% 以上	小分け	L	8,700	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
医療用炭酸ガス	純度99.5% 以上	2.2kg	本	50	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
医療用炭酸ガス	純度99.5% 以上	26.8kg	本	460	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
炭酸ガス	純度99.5% 以上	30kg	本	110	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
4種混合ガス	He10%、 CO0.3%、 O2 20%、 N2バランス	10L	本	20	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
品名	規格	容量	単位	予定数量 (保証しない)	納入時期	備 考
アルファヘリウム②	純度 99.9999% 相当 H2O<－ 80℃ O2< 0.1ppm CnHm< 0.1ppm	10L	本	3	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。

	CO< 0.1ppm CO2< 0.1ppm N2<0.2ppm H2<0.1ppm					
高純度酸素ZERO-B	純度99.7% N2< 1000ppm H2O< 10ppm	10L	本	3	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
ヘリウムガス	純度 99.995%	7m ³	本	3	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。
高純度ヘリウムガス	純度 99.999%	7m ³	本	3	指定する日	発注伝票に記載の期日までに納入する。